

夢大使紹介⑱



千葉 充氏

株式会社 心花堂
代表取締役

南三陸町との関わり

前職時代、2008年（平成20年）の仙台・宮城デスティネーションキャンペーンで観光情報を全国に発信するお仕事で深いお付き合いが始まりました。その繋がりですべて東日本大震災以降、「福興市」の立ち上げや「こども夢花火」の運営など、微力ながらお手伝いする事もでき、記念すべき第100回福興市ではお花屋さんとして出店させていただきました。

大使としての活動内容

スポーツ関連のプロモーションとお花の販売を仕事としますので、県内外のスポーツ関係者やファンの皆さま、お取引先の皆さまに町の素晴らしさ（特に人！）を伝え続けています。

南三陸町への想い

～10年後の花を咲かそう～とあの年の8月に見上げた花火の風景は、これまでの人生で一番心に刻まれています。そして、海のような広い心を持つ町の皆さまと触れ合うたびに、帰路でハンドルを握りながらいつも「人としての生きる力」というものを噛み締めています。

これからも大好きな町として思いを寄せることはもちろん、大使として少しでも恩返しできるよう努力していきたいと思っています。

夢大使紹介⑲



渡辺 祥子氏

フリーアナウンサー・
情報誌『りらく』編集長

南三陸町との関わり

出身が行き来のしやすい登米市の登米町で、税理士業を営んでいた父親の顧問先様も南三陸町にあるなど、子どもの頃から親しみ、様々な関わりがある町でした。

その後、フリーアナウンサーとして新たな関わりを持ったのは、今なお続いている「みんなのきりこプロジェクト」のスタート時に、朗読者として参加したことでした。2011年（平成23年）2月のお披露目会で、「これから盛り上げていこうね」と誓った直後の大震災。皆さまのお役に立てない自分を責めたこともありましたが、想像を絶する困難の中から力強く立ち上がる皆さまの姿に胸打たれ、逆に力づけられたことを覚えています。

海に思いを届けるイベントでの朗読、追悼式の司会などにも関わらせていただきました。南三陸311メモリアルのナレーションも担当しています。また、仲間と結成した「3.11を語りつぐ会」の活動の中で、南三陸町の皆さまの活動を伝えてきました。

大使としての活動内容

昨年からは地元の情報誌『りらく』の編集長も務めることになりました。今後は、アナウンサーとしてだけでなく、『りらく』を通して、南三陸町の魅力を積極的に届けて参ります。

南三陸町への想い

私にとって、「生きる」モデルであり、その力を引き出してくださった南三陸町の皆さまには、ただただ感謝しかありません。少しでも恩返しが出来ればとの思いでいっぱいです。

夢大使紹介⑲



佐藤 博之氏

アマタホールディングス株式会社
取締役副会長兼CEPO

南三陸町との関わり

私がはじめて町を訪れたのは東日本大震災の1カ月後のことでした。

まずは「すぐにできることから」と社員ボランティアを募り、派遣することから始めましたが、同時に方々を訪ね歩き、この町の復興後の姿について意見交換を重ねました。

そして、皆さんの心の中にある自然と共生する循環型の地域づくりをご一緒したいと思い、翌年3月志津川に事務所を借りて、そこで仲間と一年半ほど寝泊まりしながら復興に関わってきました。

バイオガスによる生ごみの循環の仕組みはその活動の一つですし、葉草の当帰（トウキ）や低農薬のお米の栽培、木質ペレットストーブの普及、そして今も続くメディア『南三陸なう』の立上げ運営に携わったのも懐かしい思い出です。

大使としての活動内容

私が入前で話す時、南三陸の話題に触れないことはありません。先日インドネシアで講演したときも、町でお世話になった方々の顔を思い浮かべながら取り組みを紹介しました。

南三陸町への想い

町のキャッチフレーズ「森里海ひと いのちめぐるまち 南三陸」と同じです。これからも町の皆さまへの感謝の気持ちを胸に、すべてのいのちが大切にされる町の未来に貢献したいと願っています。

夢大使紹介⑲



小崎 博子氏

東日本旅客鉄道株式会社
マーケティング本部
くらしづくり・
地方創生部門長

南三陸町との関わり

2010年（平成22年）に12年ぶりに大好きな東北（仙台）で観光開発業務を担当することになり、やる気満々で着任しました。東日本大震災でいったん担当していた業務を縮小していましたが、2011年（平成23年）4月に南三陸町で福興市が開催され、勇気をもらったことを今でも覚えています。

正しい情報の把握と発信、訪れることが復興の一助になることを、南三陸町をはじめ地域の皆さまに教えていただきました。2011年秋から「びゅうばす南三陸町福興市応援号」を設定し首都圏のお客さまを毎月お連れしたり、震災から2年目の春には南三陸さんさん商店街や地元高校の皆さまにご協力いただき、吉永小百合さんが出演する「大人の休日倶楽部」のプロモーションを首都圏でおこなったり、当社グループのネットワークを使って様々なことに取り組んだことが、強く印象に残っています。

大使としての活動内容

今年7月に「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」を設立しました。目的は、教育旅行や企業研修の誘致です。

沿岸部に訪れて様々なことを知り、そこで生活している心豊かな地域の皆さまと交流することで、必ずや大切な何かを学ぶことができると確信しています。「日本に住んでいるヒトを若いうちに東北にさせたい！」という高い理想を掲げていますが、具体的に何をやるかで悪戦苦闘中です。ぜひお力を貸してください！

南三陸町への想い

「南三陸町福興市」をはじめ、常に未来を見据えて前向きに、柔軟に、新しいものをまずは受け入れてみる南三陸町の行動力に、企業も個人も多くのヒトが惹きつけられていると感じます。

「ヨソモノ」である私だからできることに今後もトライしていきますので、引き続きよろしく願います！